

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



謹賀新年



新年を迎えて

しずない農業協同組合 会長理事 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、御家族ともどもご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当組合の事業運営に対し、ご協力とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は2月に日経平均株価がバブル期の1989年12月29日に付けた終値の史上最高値3万8915円を超え、3月には平成28年から行われていたマイナス金利政策が解除されました。また、令和6年春闘でも平均賃上げ率は5.3%と高水準の賃上げが相次ぎ、

特に円安・ドル高やインバウンドの増加などを追い風にした企業の業績が堅調に推移しました。

そういった状況もありながら、農業分野におきましては昨今の物価高の煽りを受け、肥料・燃油・飼料などの農業資材は高止まりのままであり、夏場の高温多湿の影響は大きく、苦労の絶えない1年となりました。

昨年の農作物の状況としまして、当組合の基幹作物の1つであるミニトマトについては、年間を通して単価高ではありましたが、特に抑制作において、曇天と猛暑による花落ちや小玉傾向の影響を大きく受け、収量減となりました。

取扱金額は8億7千万円となり、青果全体では9億5千万円となりました。

なお、本年は1組の新規就農者の参入が予定されており、水稲は日高管内の作況指数で102の「やや良」でありましたが、収量は平年並みではありませんが、

胴割れを始めとする被害粒も少なく、低蛋白で高品質な米を出荷することが出来ました。令和6年産万馬券については1831俵を買入れ、しずない農業まつり以降からAコープ静内店にて店頭販売を開始し、業務向け納品を中心に新規取引の注文が集まっています。

また、上川大雪酒造、川端総杜氏と若山杜氏から高い評価を受けている、静内産米「彗星」から造る、地酒「純米吟醸酒「海桜丸」は、5年目を迎えております。上川大雪酒造では、原料となる酒米の品質に拘り酒造りを行います。

その酒米本来の品質と、生産農家の米づくりの考え方を重要として酒造りを行い、毎年「飲み口の良し」出来栄えとなっており、新酒の発売を待ちわびているリピーターのお客様も増えております。是非一度その味わいをご堪能いただきたいと思っております。新酒については本年も4月末頃の販売を予定しております。

黒毛和牛については、ホクレン南北海道市場の素牛平均購買価格は去勢で61万円、メスで49万円と、前年比較で5万円程度の安値で推移しており、当組合の年間の販売

金額は4億2千万円程度と前年の4億9千万円程度より7千万円減少しております。素牛市場の低迷を受け黒毛素牛のセーフティネットである肉用子牛生産者補給金制度が北海道を含め、全国的に発動しており、肥育牛におけるセーフティネットである肉用牛肥育経営安定交付金についても、ここ数年発動が続いております。高水準の賃上げが行われてはおりますが、それ以上の急激な物価上昇を受け、消費者の生活防衛の意識もあり、黒毛和牛肉の消費が一段と低迷しております。このような状況でありませんが、今後とも購買者のニーズに答え、より良い素牛を出荷できるように高齢牛の淘汰更新を積極的に進め、優良母系牛群の形成を進めていきます。

また、酪農については夏の猛暑の影響も懸念されましたが、静内全体の乳量は、ほぼ計画通りで推移しており、販売金額は3億4千万円の取扱実績でした。ホルスタインや交雑種の初生子牛につきましては引き続き安価な状況が続いております。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売

金額が、483頭、71億9千万円で一昨年より販売頭数が21頭の減少、販売金額が4億3千万円の増加となり、平均販売価格は147万円増加の1千488万円となりました。日経平均株価が最高値を更新し、良好な企業成績を背景に市場は非常に活気に満ちております。総売上は過去最高で190億円に迫る結果でありました。

また、昨年の重賞レースでは5月1日、船橋競馬場で開催された「第36回かしわ記念」、6月23日、京都競馬場で開催された「第65回宝塚記念」で岡田スタッド生産のシャマル号、ブローザホーン号がそれぞれG1勝利を挙げました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

例年10月に開催されていたしずない農業まつりは台風などの影響を受けない室内というところで新たに新ひだか町公民館での開催を企画し、当日はたくさんのお客様が来場し各種イベントで大いに賑わいを見せました。

また、青年部は例年10月にハロウィン2024を開催し、800人近い来場者数で盛り上がりを見せました。なお、他の青年部活動

につきましても6月上旬から6月中旬にかけて、新ひだか町の小学校2校と静内保育所を訪れ、定植体験授業、選果場見学、圃場見学を行い、ミニトマト産地ならではの取組みにより子供たちに学べる環境を作ることが出来ました。

最後に、昨年は令和元年度に策定した農業振興5カ年計画の最終年度となっており、当初計画されていた通りの運営ができていたのか検証を行いました。また、それをもとに各品目の将来について組織討議を行い、新たな5カ年についての計画を策定しております。大変厳しい農業情勢にありますが、組合員皆様が力強い農業経営の実現に向け当JAとしましても努力して参りますのでこれまでと変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



謹んで新年のご祝詞を申し上げます



会長理事

西村 和夫

代表理事組合長

藤村 英治

理事

山口 修二

谷岡 康成

田中 裕之

小池 孝義

帰山 諭

理事兼参事

大滝 康正

代表監事

渡辺 隆

監事

姥谷 秀樹

金融部長

竹内 章浩

営農部長

木口 雄一

経済部長

丹野 潤一

外職員一同



令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会代表理事会長 樽井 功



新年あけましておめでとうござ
います。

組合員の皆様におかれましては、
日々営農に更に邁進されておられ
ることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が
一丸となり地域農業の振興や地域
社会の発展に向け、日頃より多大
なご尽力をされていることに對し
まして、改めて敬意と感謝を申し
上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、
春先から天候に恵まれ、各作物の
生育は全般的に平年よりも早く進
んでおりました。しかしながら、
夏場は猛暑・豪雨による記録的な

高温多湿の影響を受け、各作物等
の収量および品質に影響が出た年
となりました。

近年、気候変動等による自然災
害の多発や栽培適地の変化、国際
紛争や急激な円安の進行による飼
料・肥料をはじめとした生産資材
の高止まりが農業経営に甚大な影
響を与えており、農業・農村を取
り巻く環境は一段と厳しさを増し
ております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料
・農業・農村基本法が改正され、
現状に即した基本理念の見直しと、
「食料安全保障の抜本的な強化」、
「環境と調和のとれた産業への転
換」等の実現が盛り込まれました。
政府は、初動5年間で農業構造転
換集中対策期間と位置づけ、施策
を集中的に実行するとともに、今
年3月に食料・農業・農村基本計
画を策定するべく引き続き検討を
進めております。

J Aグループ北海道としては、

食料安全保障の強化と持続可能な
北海道農業の確立のために、農地
の確保および適正利用の強化、食
料・自給飼料等の安定生産・供給
と環境負荷軽減の両立に取り組み
ながら、それを後押しする力強い
政策支援を求めていくことが重要
と考えております。

また、昨年は第31回J A北海道
大会が開催され、「食料安全保障
の強化と持続可能な北海道農業の
確立」、「J Aの組織基盤の強化と
健全な経営基盤の確立」、「アグリ
アクション北海道の推進による農
業・食・J Aへの理解醸成」の3
つの議案を決議いたしました。

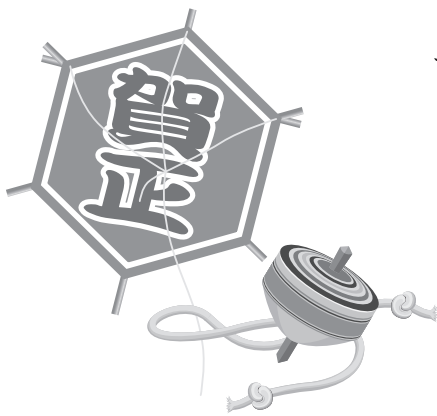
今後、議案の達成に向けて、組
合員・J A・連合会が一丸となっ
て、生産現場の行動変容と組合員
の意思結集による農政運動、J A
の経営管理の高度化やデジタル化
の推進による業務効率化・生産性
向上に取り組んでいかなければな
りません。

さらに、消費者の皆様には、J
Aグループ北海道統一の情報発信
のプラットフォームである「アグリアクシ
ョン北海道」を浸透させるととも
に、効果的な情報発信により、今

まで以上に農業・食・J Aに対す
る理解を深めていただき、J Aグ
ループが提唱する「国消国産」の
認知を広めてまいりますよう。

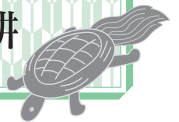
結びになります。本年は巳年
です。巳（へび）は冬眠から目覚
め地上に這い出すことから、冬に
根をはった草木が芽を出し「新し
い種子が生まれる」という意味が
あると言われ、転じて、巳年は力
を蓄えていたものが芽を出す「起
点」の年、脱皮する特性と併せ「再
生と誕生」を意味する年だと言わ
れています。

この謂われにあやかり、本年が
北海道農業の飛躍の起点となるこ
と、皆様のご多幸とご健勝をご祈
念申し上げ、年頭のご挨拶といた
します。



新年のご挨拶と日高農業の展望

日高農業改良普及センター 所長 須田 耕



新年、あけましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より日高農業改良普及センターの活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国会では昨年5月29日に食料・農業・農村基本法の改正法が成立いたしました。現行法が制定されてから四半世紀が経過する中で、「食料安全保障の抜本的な強化」「環境と調和の取れた産業への転換」「人口減少下での農業

生産の維持」などを目指し、基本理念が見直されました。これにより、現在の日本農業が抱える課題の解決策として期待が高まっています。

北海道においては、道内の農業・農村が情勢変化や課題に対応しつつ持続的に発展していけるよう、「第6期北海道農業・農村振興推進計画」が展開されています。日高農業改良普及センターではこの計画に基づき、令和3年から以下の目標達成に向けて活動を進めています。

- (1) 持続可能で生産性の高い農業・農村の確立
 - (2) 国内外の需要を取り込む農業・農村の確立
 - (3) 多様な人材が活躍する農業・農村の確立
 - (4) 道民の理解に支えられる農業・農村の確立
- 一方で、農業を取り巻く状況は依然として厳しく、担い手不足や高齢化、夏期高温による作物への

影響、物価上昇による生産費の高騰など、さまざまな課題が山積しています。また、水田活用の直接支払交付金制度の改正や、園芸作物における土壌病害等の発生、健康志向の高まりによる牛肉消費の鈍化など、日高においても避けて通れない問題が多数存在しています。これらを解決するためには、農業者をはじめとする関係各所の結束が必要不可欠となっています。

地域が実行すべき具体的な取り組みとしては、基幹作物の安定生産やブランドの確立、スマート農業技術を活かした園芸作物の省力・低コスト生産、肉用牛や乳用牛の飼養環境改善に基づく栄養管理技術の向上などが挙げられます。加えて、強い馬づくりを目指した草地管理技術の向上も重要となります。さらには、地域資源を活用した循環型農業の促進や付加価値の高い農畜産物の生産と販路拡大、次代を担う人材の確保・育成も早急に取り組むべき課題となっております。

普及センターとしては、これらの地域課題を解決するため、従来に引き続き、提案・実証型の活動を進めてまいります。また、慢性

的な人員不足に対応するため、課題の選択と優先度の高い事項に集中して取り組む体制を整え、効率性の高い活動を進めてまいります。

この点についても、皆様による一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとってご健勝で実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます、簡単ではございますが、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

理事会報告

11月理事会(26日)

1. 令和6年度農業予算関係(案) について
2. 令和6年度軽種馬生産基盤整備対策(放牧地等整備) 事業(案) について
3. 営農支援対策(案) について
4. 借入金(譲渡不足資金見合分)の繰上償還について
5. 年末手当の支給について

新年を迎えて

J Aしずない女性部 部長 曾我 順子



令和7年、明けましておめでとうございませう。

昨年は2月に主人がインフルエンザで入院し、続いて義父が入院、退院と目まぐるしい日々を経験し、主人のいない日々は多くの方々のご協力をいただき、なんとか乗り切ることが出来ました。ありがとうございます。

そんな中、義父がインフルエンザこそよくなったものの、高齢のために亡くなりました。私をいつも励まし、褒め、女性部の部長の話が来た時には最初に「やってみれ。お前ならできる。」と言ってくれた人でした。実家の父より長く一緒にいた義父ですし、私には本当の父のようでした。そして義

父自身も困難なことにも最後まであきらめないという後姿を私に示してくれた人でした。みんなを明るくさせるおちゃめユーモアがあり、人に優しい人でした。私もそういう人になりたいと思う今日この頃です。

また夏には、自治会の婦人部の仲間がガンの長い治療中に56歳で亡くなりました。心にポツカリ穴が空いた気持ちで過ごしていましたが、その方のご主人が「悲しんでないで、前を向いて歩くのが亡くなったものは安心する。」という言葉を聞き、ご主人は、もつと悲しいのに周りの人を気遣う気持ちを貰い、私ももつとしっかりしなければと立ち直ることが出来ました。

12月にはJ A女性部の日胆研修会が洞爺湖町で行われ、ヴァイオリンの演奏や、米袋を使ったバッグ作成など楽しい時間があったという間に終了しました。

最後に、今年もいろいろなことがあるかと思いますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年始の挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

J Aしずない青年部 部長 小久江 正樹



新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は国内外の情勢の影響もあり、急激な物価上昇となりましたが、賃金の上昇はそれに追いつかず、苦しい状況となっております。

また近年は地球温暖化の影響もあり、集中豪雨や夏の猛暑等で全国的にも従来通りに作物を生産することが難しくなってきました。

このような状況下においても、より良い営農が出来るようにと、昨年からの引き続いてJ Aびらとり青年部と共に合同勉強会を催し、意見、情報交換が出来ました。作っている作物は違いますが、部員

の糧になったかと思えます。今後も地域の垣根を越えて、お互いに切磋琢磨出来るような活動が続くことを願います。

私自身、昨年菊地前部長から青年部部長という大役を任せられ、不安に感じる部分が多かったのですが、管内2小学校、保育所を訪問した食育出前授業、J Aしずないの一大イベント「しずない農業まつり」、当青年部と新ひだか町教育委員会との共催イベントである「ハロウィン」日胆青年部協議会主催である大学生の農作業体験への協力など、青年部員並びに各関係機関の皆様のご尽力のお陰で素晴らしいものとなりました。

青年部長をやってみて思ったことは、一人では出来ないことも仲間が集まれば出来るということだと思います。私はこれからも自分のためだけでなく、お世話になっている仲間のため、そして地域のために努力していきたいと思っています。

最後に、J A組合員の皆様をはじめ、各関係機関の方々のご多幸をお祈り致しますと共に、本年もご厚誼の程、よろしくお願い申し上げます。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第3回「東野ひでき北海道後援会」の取組み

組織内候補者を擁立して臨んできた過去5回の参議院選挙比例区では、各組織等が精力的に取り組んだ結果、候補者は当選を果たしてきたものの、残念ながら選挙の度に大きく得票数を減らしております。

得票数減少の様々な要因はあるものの、前回選挙の総括では(ア)選挙の意義を組織構成員に伝え機運醸成する組織力の低下、(イ)世代交代や情報発信・接点等不足による候補者の認知度の低下、(ウ)職員、組合員や青年部・女性部盟友等への浸透・徹底不足、(エ)事務局体制の脆弱化等が主な要因としてあげられております。

こうした要因と危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが必要不可欠であります。農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

今後、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、関係団体など東野ひでき氏を応援する者の輪を広げていくために、「なかもづくり運動」をはじめ農政学習会の東野ひでき公式LINEアカウントへの登録はこちらから開催、SNSでの発信等を繰り、SNSでの発信等を繰り広げてまいります。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第4回)は、農政活動の仕組みについて紹介します。



ひできのなかもづくり運動 各々が東野ひでき氏支援を依頼する「なかも」を確実に2名以上特定し、さらに、「なかも」1名につき、新たに2名以上の「なかも」を特定し、「なかも」を広げいきましょう。
 [ひ]…ひとりでも多く!
 [で]…できることから!
 [き]…きょうから始めよう!

知って得する 農業者年金



ポイント

1

農業者なら誰でも入れる「**終身年金**」です!

ポイント

2

一定の要件を満たす方には、
月額最大1万円の保険料の国庫補助

ポイント

3

保険料は**全額社会保険料控除の対象**
 など、生涯を通じて大きな節税効果!

女性加入者の声

- 夫と一緒に農業をやり、家事もやっているのだから、年金に夫婦で加入するのは当然のことだと思った。(Tさん)
- 子育てが終わって余裕ができた。加入は遅くなったが、満額を掛けて老後に備えたい。(Mさん)
- 年をとったときにエールを送ってくれる制度。「長寿社会になって女性は長生きだから、母ちゃんたちの年金も考えて!」と思った。(Uさん)
- 農業は天候に左右され収入が変動するが、保険料の上げ下げが自由で、苦しいときは引き落としを止めることができたし、節税にもなってよかった。(Aさん)

農業者年金の内容やご相談については、JAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

JAしずない ☎ 0146-42-1051 (担当: 営農課 住友)

詳しくは… 農業者年金 検索

<https://www.nounen.go.jp>

独立行政法人
農業者年金基金

TEL: 03-3502-3199 (専門相談員)
 TEL: 03-3502-3942 (企画調整室)





年末・年始業務日程



区 分	12月			1 月											
	29日 (日)	30日 (月)	31日 (火)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)	7日 (火)					
下記以外の業務		短縮営業 8:30~15:00		<div style="text-align: center;"> <p>休 業</p> </div>							平常営業 8:30~17:00	平常営業 8:30~17:00			
金融店舗		平常営業 8:30~15:00									平常営業 8:30~15:00	平常営業 8:30~15:00			
※ATM本所		ATM 8:30~15:00									ATM 8:30~18:00	ATM 8:30~17:00			
※ATM豊畑			ATM 8:30~17:00								ATM 8:30~17:00				
Aコープしずない店 資材センター	休 業										平常営業 8:30~17:00	平常営業 8:30~17:00			
本所給油所			平常営業 7:30~18:00								短縮営業 7:30~17:00				
豊畑給油所			平常営業 8:30~17:00								平常営業 8:30~17:00				
東静内給油所			平常営業 8:30~17:00								平常営業 8:30~17:00				
※日高中部農協 機械センター			休 業 12月28日(金)~1月6日(月)								平常営業 9:00~17:00				

地区別懇談会日程表

令和7年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。
組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

月 日	時 間	農 事 組 合 名	会 場
1月27日 (月)	午後1時30分 ~午後4時00分	春 立 ・ 東別一 ・ 東別二 ・ 東別三	東西生活館
	午後5時30分 ~午後8時00分	浦 和 ・ あざみ ・ 東静内 ・ あげほの ・ 川合一 川合二 ・ 川合三 ・ 西川一 ・ 西川二 ・ 西川三	ふれあい 生活館
1月28日 (火)	午後5時30分 ~午後8時00分	御 園 ・ 農 屋 ・ 豊畑一 ・ 豊畑二 ・ 豊畑三 上豊畑 ・ 豊畑振興	豊畑生活館
1月29日 (水)	午後5時30分 ~午後8時00分	静内一 ・ 駒 場 ・ 中野一 ・ 中野二 ・ 神 森 昭 和 ・ 真 歌 ・ 有勢内 ・ 目 名 ・ 田 原 田原高台 ・ 桔 梗 ・ 親 和	生産連ビル 3 F

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。